

www.fishman.com

FISHMAN®

ユーザーガイド
AURA・SPECTRUM^{Di}

ようこそ

このたびはFishmanのアコースティック用製品をお選び頂き誠にありがとうございます。Fishmanが提供する最高品質のアコースティック関連製品は、サウンドを引き立てるプロ仕様のツールです。Aura Spectrum DIが皆さんの音楽づくりのインスピレーションとなることを願っています。

クイック・スタート

電源—新しい9V電池を入れるか、電源アダプターを接続してください（電池は付属していません）。

コントロールの設定—「volume」を最低値に設定し、その他のコントロールは下図のように設定してください。

接続—標準的な1/4インチ楽器用ケーブルを使用してください。

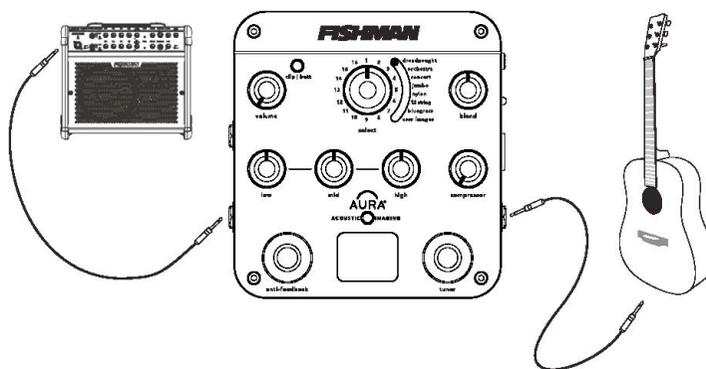
チューニング—チューナー・フットスイッチを踏み、出力をミュートしてチューニングします。

トリムの設定—強く弾いた時に「clip/batt」LEDが時々点灯するレベルにインプット・トリム（右側）を設定します。

イメージを選択—「volume」を上げ、「select」ノブでイメージを試聴します。**イメージ・バンク**のスライダーを調節し、お使いの楽器に最も適したイメージ・セットを選択してください（6～13ページ参照）。

ブレンドを調節—ピックアップのサウンドを増やすには「blend」ノブを左に、Auraイメージを増やすには右に回します。

フィードバックをカット—不要なフィードバックが始まったら、「phase」スイッチの位置を切り替えてください。さらにフィードバックに対処するためには、24ページの自動フィードバック・フィルタの項を参照してください。



Auraについて

Auraアコースティック・イメジング・テクノロジーは、Fishmanのオーディオ・ラボラトリーで開発されたデジタル・アルゴリズムを使用し、スタジオでマイキングしたアコースティック・サウンドを再現復元します。ワールドクラスのマイクと技術を用いて、お使いのアコースティック楽器をプロ・スタジオでマイキングした時の自然なサウンドの“イメージ”を捉えています。このイメージは、レコーディングや、アンプ/ミキサー/PAを通して演奏した時、お使いのピックアップとブレンドされ、アコースティック・サウンドを驚くほど正確に再現します。

Auraアコースティック・イメジング・プロセッサは、Fishmanアンダーサドル・ピックアップおよびマグネチック・サウンドホール・ピックアップとあわせて使用した時に最高のサウンドが生まれますが、オーディオ・ラボラトリーで開発された際には、Fishmanのアコースティック・マトリックス・アンダーサドル・ピックアップが使用されました。そのため、Fishmanのアコースティック・マトリックス・ピックアップを用いると最高の結果が得られます。コンタクトタイプのピックアップ/ブリッジプレート・ピックアップ/マルチセンサのピックアップやマイクは、Auraプロセッシングに干渉する可能性がある不必要な共鳴が含まれるため、Aura製品との使用をおすすめしません。

イメージの選択

Auraアコースティック・イメジングによって最もリアルなトーンを実現するために、必ずイメージをお使いの楽器のタイプと合わせてください。例えば、ドレッドノート・スタイルのボディのギターを使用する際には、ドレッドノートのイメージを選び、マンドリンを演奏する際には、マンドリンのイメージを選びます。Auraイメージと楽器のタイプが一致しない場合には、Auraイメージの再現が正確に行なえなくなります。お使いのギターのボディ・タイプが定かでない場合は、一番近いタイプのAuraイメージをご選択下さい。お使いの楽器を最適のAuraイメージと合わせるため、以下のページをご参照ください。

Auraイメージ・ギャラリー

「Auraイメージ・ギャラリー」は、常に拡張を続ける楽器のリストから作成された膨大な数のイメージのライブラリを管理し、イメージ・セットを検索して保存するためのツールを提供するソフトウェア・アプリケーションです。イメージ・ライブラリをブラウザしてお使いの楽器を見つけ、ドラッグ&ドロップでイメージをイメージ・セットに加えれば、Aura Spectrumにダウンロードできます。

接続する

生演奏

ライブ演奏で最高のサウンドを再現するには、Aura Spectrumをアコースティック楽器用アンプ/PAシステム/パワード・モニター等に接続してください。バランスXLR DI出力を装備することにより、アウトボードDIを別途用意する必要がありません。

ダイレクト・レコーディング

ダイレクト・レコーディングをする場合は、Aura SpectrumのバランスXLR DIまたは1/4インチ出力を使用すれば最高の結果が得られます。ピックアップだけでレコーディングしたアコースティック・トラックも、Auraを使用してマイキングしたサウンドを加えることで、更にアコースティック楽器本来の鳴りを加えることができます。

イメージ・バンクについて

ドレッドノート

このイメージ・バンクは、ボディが深いクラシックなドレッドノート型ギターにお使いください。



イメージ番号	トップ	バック&サイド	マイク・タイプ
1	スプルース	ローズウッド	DPA® 4011
2	スプルース	マホガニー	Soundelux® E47
3	スプルース	ローズウッド	Soundelux® E47
4	スプルース	ローズウッド	Neumann® KM84
5	スプルース	ローズウッド	Schoeps® CMC64
6	スプルース	ローズウッド	Schoeps® CMC64
7	スプルース	ローズウッド	Shure® KSM141
8	スプルース	ローズウッド	Neumann® M147
9	スプルース	ローズウッド	Neumann® M147
10	スプルース	ローズウッド	Schoeps® CMC64
11	スプルース	マホガニー	AKG® C414
12	スプルース	ローズウッド	Neumann® U87
13	スプルース	ローズウッド	Neumann® U87
14	複合材	複合材	DPA® 4011
15	スプルース	ローズウッド	Neumann® M147
16	スプルース	マホガニー	Shure® SM57

Fishman Transducers, Inc.は、上記の企業や各企業の商標/登録商標/製品/著作権とは関係がありません。

ジャンボ

下記のイメージは、胴が細くくびれ、下部の幅が広い（一般に16インチ以上）大型で深いボディのギターにお使いください。



イメージ番号	トップ	バック&サイド	マイク・タイプ
1	シダー	ローズウッド	Shure® SM57
2	スプルース	メイプル	AKG® C414
3	スプルース	メイプル	DPA® 4011
4	スプルース	メイプル	Schoeps® CMC64
5	スプルース	メイプル	Schoeps® CMC64
6	スプルース	ローズウッド	DPA® 4011
7	スプルース	ローズウッド	Neumann® U87
8	スプルース	ローズウッド	Shure® SM57
9	シダー	ローズウッド	DPA® 4011
10	スプルース	メイプル	Soundelux® E47
11	スプルース	ローズウッド	Neumann® U87
12	スプルース	ローズウッド	Neumann® KM84
13	スプルース	メイプル	Shure® SM57
14	シダー	ローズウッド	Neumann® U87
15	スプルース	メイプル	Neumann® U87
16	スプルース	コア	Schoeps® CMC64

Fishman Transducers, Inc.は、上記の企業や各企業の商標／登録商標／製品／著作権とは関係がありません。

イメージ・バンクについて (つづき)

コンサート

コンサート用イメージは、小型でショート・スケールの胴が細くびれているギターにお使いください。0、00、L-00スタイルのもの、フィンガーピッキング・ギター、パーラー・ギターやトラベル・ギターなどに適しています。



イメージ番号	トップ	バック&サイド	マイク・タイプ
1	スプルース	ローズウッド	Schoeps® CMC64
2	スプルース	ローズウッド	Schoeps® CMC64
3	スプルース	メイプル	Neumann® M147
4	スプルース	ローズウッド	Shure® SM57
5	マホガニー	マホガニー	DPA® 4011
6	スプルース	ローズウッド	Neumann® M147
7	スプルース	コア	Neumann® U87
8	スプルース	ローズウッド	DPA® 4011
9	マホガニー	マホガニー	Neumann® M147
10	マホガニー	マホガニー	Soundelux® E47
11	マホガニー	マホガニー	DPA® 4011
12	スプルース	メイプル	Schoeps® CMC64
13	スプルース	ローズウッド	Neumann® M147
14	スプルース	ローズウッド	Neumann® M147
15	スプルース	ローズウッド	Schoeps® CMC64
16	スプルース	コア	Schoeps® CMC64

Fishman Transducers, Inc.は、上記の企業や各企業の商標/登録商標/製品/著作権とは関係がありません。

オーケストラ

オーケストラのイメージは、コンサートより大きく、ドレッドノートより小さいギターにお使いください。OM、000スタイル、オーデトリウム、そのの中くらいのサイズと深さで胴が細くくびれているギターに適しています。



イメージ番号	トップ	バック&サイド	マイク・タイプ
1	スプルース	ローズウッド	Soundelux® E47
2	スプルース	ローズウッド	Neumann® M147
3	スプルース	マホガニー	Schoeps® CMC64
4	スプルース	マホガニー	Neumann® M147
5	スプルース	マホガニー	Soundelux® E47
6	スプルース	ローズウッド	Neumann® KM84
7	スプルース	マホガニー	Soundelux® E47
8	スプルース	ローズウッド	Soundelux® E47
9	スプルース	マホガニー	DPA® 4011
10	スプルース	ローズウッド	Soundelux® E47
11	スプルース	ローズウッド	Shure® Beta58A®
12	スプルース	ローズウッド	Schoeps® CMC64
13	スプルース	マホガニー	Neumann® M147
14	スプルース	ローズウッド	Neumann® KM84
15	スプルース	ローズウッド	Schoeps® CMC64
16	スプルース	ローズウッド	Schoeps® CMC64

Fishman Transducers, Inc.は、上記の企業や各企業の商標／登録商標／製品／著作権とは関係がありません。

イメージ・バンクについて (つづき)

ナイロン

中くらいの深さのクラシックや、薄いボディのアコースティック/エレクトリック・ナイロンストリング・ギターにお使いください。

注：ナイロン・ペダルは必ずアンダーサドル・ピックアップとお使いください。



イメージ番号	トップ	バック&サイド	マイク・タイプ
1	シダー	ローズウッド	Schoeps® CMC64
2	スプルース	サイプレス	Soundelux® E47
3	スプルース	ローズウッド	Soundelux® E47
4	シダー	ローズウッド	Neumann® M147
5	スプルース	ローズウッド	DPA® 4011
6	スプルース	サイプレス	AKG® C1000S
7	スプルース	ローズウッド	Soundelux® E47
8	スプルース	マホガニー	Neumann® M147
9	シダー	ローズウッド	Soundelux® E47
10	スプルース	ローズウッド	Neumann® M147
11	シダー	ローズウッド	AKG® C414
12	シダー	ローズウッド	DPA® 4011
13	シダー	ローズウッド	Shure® KSM141
14	スプルース	サイプレス	DPA® 4011
15	シダー	ローズウッド	Neumann® M147
16	スプルース	サイプレス	Neumann® M147

Fishman Transducers, Inc.は、上記の企業や各企業の商標/登録商標/製品/著作権とは関係がありません。

12ストリング

一般にジャンボまたはドレッドノート・サイズの楽器です。

12ストリング・ギターはプレーシングが厚いことからユニークなサウンドを生み出します。



イメージ番号	トップ	バック&サイド	マイク・タイプ
1	スプルース	ローズウッド	Soundelux® E47
2	スプルース	メープル	AKG® C414
3	スプルース	ローズウッド	Soundelux® E47
4	スプルース	ローズウッド	Neumann® KM84
5	スプルース	ローズウッド	Soundelux® E47
6	スプルース	ローズウッド	DPA® 4011
7	スプルース	ローズウッド	Shure® KSM141
8	スプルース	ローズウッド	Neumann® M147
9	マホガニー	マホガニー	Schoeps® CMC64
10	スプルース	ローズウッド	Schoeps® CMC64
11	スプルース	マホガニー	Shure® SM57
12	スプルース	マホガニー	Neumann® U87
13	スプルース	ローズウッド	Neumann® U87
14	スプルース	メープル	Soundelux® E47
15	スプルース	ローズウッド	Shure® SM57
16	スプルース	コア	Schoeps® CMC64

Fishman Transducers, Inc.は、上記の企業や各企業の商標／登録商標／製品／著作権とは関係がありません。

イメージ・バンクについて（つづき）

ブルーグラス

このバンクは、フィドル、マンドリン、レゾフォニックのサンプル・イメージを取りそろえています。

イメージ番号	楽器	バック&サイド	マイク・タイプ
1	フィドル	メイプル	Neumann® U87
2	フィドル	メイプル	Soundelux® E47
3	フィドル	メイプル	RCA® Ribbon
4	フィドル	メイプル	Royer® R-121
5	フィドル	メイプル	Neumann® KM54
6	マンドリン	メイプル	Neumann® U87
7	マンドリン	メイプル	Neumann® KM84
8	マンドリン	メイプル	Neumann® U87
9	マンドリン	メイプル	Neumann® M147
10	マンドリン	メイプル	DPA® 4011
11	レゾフォニック	フィンランド・バーチ	Schoeps® CMC64
12	レゾフォニック	フィンランド・バーチ	Shure® SM57
13	レゾフォニック	フィンランド・バーチ	Neumann® KM84
14	レゾフォニック	フィンランド・バーチ	Neumann® U87
15	レゾフォニック	フィンランド・バーチ	Neumann® M147
16	レゾフォニック	フィンランド・バーチ	Groove Tubes® Velo8®

Fishman Transducers, Inc.は、上記の企業や各企業の商標／登録商標／製品／著作権とは関係がありません。

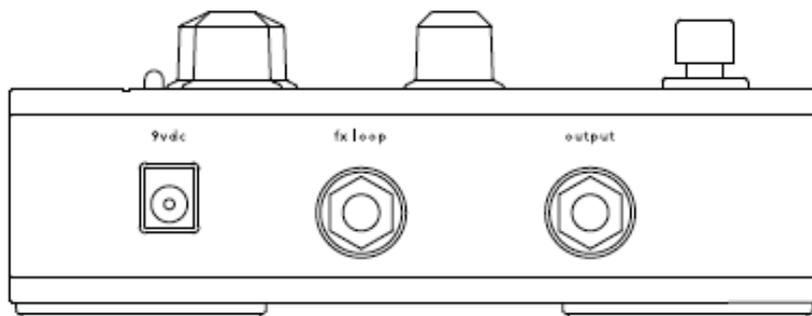
ユーザー・イメージ

このバンクは、Auraイメージ・ギャラリーからランダムにセレクトされた多様なギターを取りそろえています。16のスペースにはいずれもAuraイメージ・ギャラリーからダウンロードしたイメージを上書きできます。イメージのダウンロードについては、26ページをご参照ください。

イメージ番号	トップ	バック&サイド	マイク・タイプ
1	スプルース	ローズウッド	Shure® SM57
2	スプルース	ローズウッド	Schoeps® CMC64
3	複合材	複合材	Soundelux® E47
4	スプルース	マホガニー	Neumann® KM84
5	スプルース	ローズウッド	Soundelux® E47
6	スプルース	マホガニー	DPA® 4011
7	スプルース	ローズウッド	Neumann® U87
8	スプルース	ローズウッド	Soundelux® E47
9	スプルース	ローズウッド	Schoeps® CMC64
10	スプルース	ローズウッド	Neumann® U87
11	スプルース	ローズウッド	Neumann® M147
12	スプルース	ローズウッド	DPA® 4011
13	マホガニー	マホガニー	Neumann® U87
14	スプルース	ローズウッド	Neumann® M147
15	スプルース	ローズウッド	AKG® C414
16	スプルース	サペリ	Schoeps® CMC64

Fishman Transducers, Inc.は、上記の企業や各企業の商標／登録商標／製品／著作権とは関係がありません。

左パネル



出力

標準的な1/4インチの楽器ケーブルを使用し、「output」をアンプ/ミキサー/エフェクターなどに接続します。「output」はレコーディング・システムのアンバランス入力に接続することもできます。

また、ここにギター・ケーブルを接続すれば、XLR DI出力のグラウンド（接地）をカットし、不必要なグラウンド・ループを防止することができます。

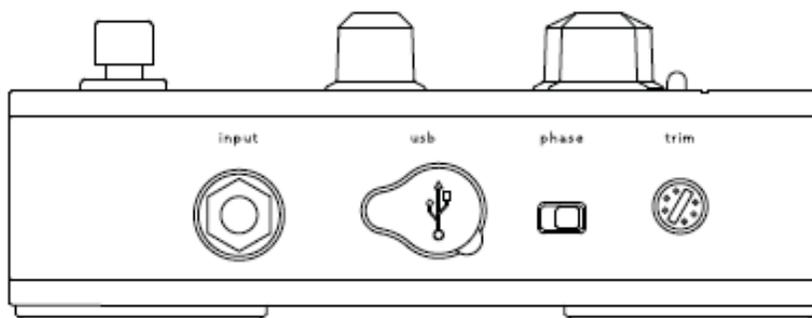
FXループ

このチップ/リング/スリーブ接続により、Aura Spectrumのブレンド・シグナルとメイン出力の間にFishman AFXアコースティック・エフェクトなど外部のデバイスを挿入することができます。ここにエフェクター等を接続すれば、1/4インチおよびXLR DI出力から出力されます。この場合も全体の出力レベルはAura Spectrumの「volume」コントロールで調節します。

9VDC

電源には、9Vの電池または9VDC電源アダプターを使用してください。

右パネル



トリム

入力レベルをお使いのピックアップに合わせるため、「trim」を調節します。強く弾いて「clip/batt」LEDが時々点灯するレベルに設定します。一部のピックアップは、出力が低くライトがまったく点灯しないことがあります。その場合には「trim」のレベルを最大にしてご使用下さい。

フェイズ

「Phase」スイッチを使用すると、低い音量でのベースのレスポンスを改善し、高い音量でのフィードバックを抑えることができます。「Phase」スイッチを動かし、耳に心地良いほうの設定にしてください。

USB

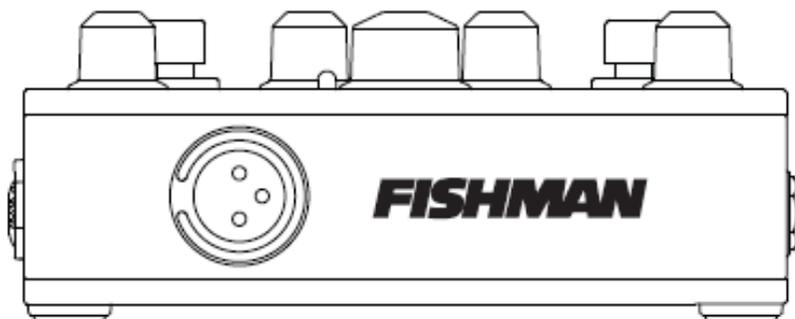
「Auraイメージ・ギャラリー」ソフトウェアをインストール後、このジャックとコンピュータを接続してください。

入力

標準的な1/4インチの楽器ケーブルを使用してギターを接続します。パッシブ・アンダーサドル・ピックアップをお使いの場合は、(ペダル・チューナーを使用する場合でも)最初にAuraイメージング・ペダルに接続してください。

「input」ジャックにプラグを差し込むと、Auraイメージング・ペダルの電源が入ります。電池を節約するため、使用しない時は「input」からプラグを抜いてください。

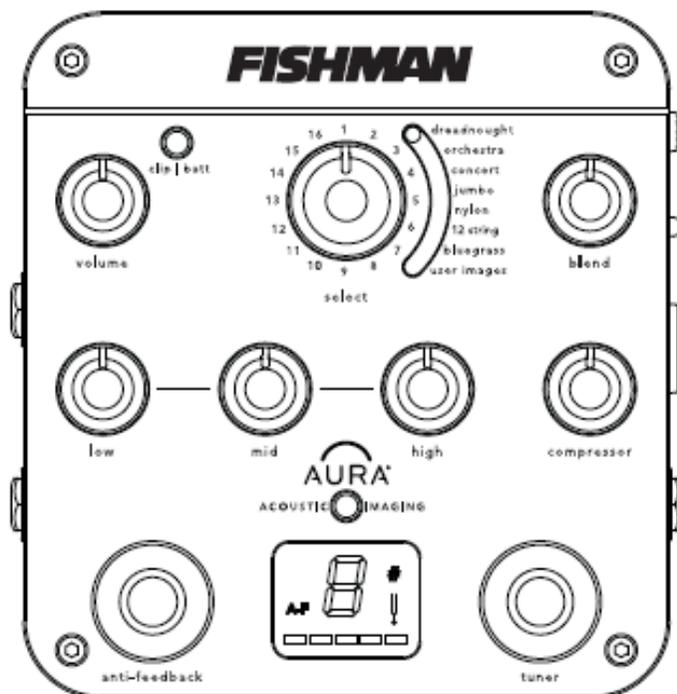
トップ・パネル



XLR DI出力

レコーディング機材やSRミキシング・コンソールにシグナルを供給するには、標準的なマイク・ケーブルをここに接続します。1/4インチの出力にも同時に接続すると、このDI出力のグラウンドは自動的にカットされ、不必要なグラウンド・ループを防止します。

フロントパネル・コントロール



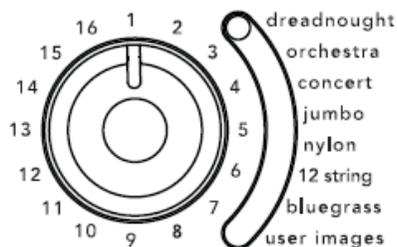
ボリューム

「volume」コントロールは、1/4インチ出力およびXLR DI出力の両方の全体的な出力レベルを調節します。最もクリーンなシグナルを得るためには、シグナル・チェーンにある次のデバイスをクリッピングさせない範囲で「volume」をできるだけ高い設定にしてください。

ディストーションが発生し、「clip/batt」ライトが点滅していない時は、「volume」を下げてください。

セレクト

「select」ノブで、8つのイメージ・バンクにそれぞれ16あるイメージの1つを選択します。「select」スライダを動かし、お使いの楽器に最も適したイメージ・バンクを選んでから、16のイメージから最高のサウンドのものを選んでください。それぞれのバンクにある16のイメージをすべて試し、「blend」を調節してお気に入りのブレンドにしてください。



ブレンド

「blend」ノブを12時の位置に合わせると、イメージとピックアップが半々のミックスになります。

「blend」を右にいっぱいまで回すとイメージだけになり、左にいっぱいまで回すとピックアップだけになります。イメージにピックアップを少しずつ足していくのがコツです。



ブレンドに関するヒント

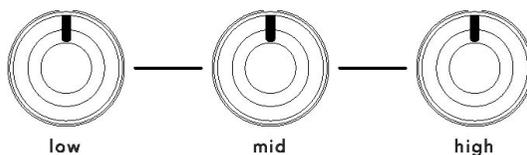
- 生演奏のためのブレンドは、「blend」のつまみを10時か11時に回してイメージを減らし、約65%をピックアップにしてみてください。あまりイメージをブレンドせずに、素晴らしいライブ・サウンドを実現することができます。フィードバックが発生した場合は、「phase」スイッチを切り替えてください。
- レコーディングのためのブレンドは、リアルなアコースティック・サウンドを実現するため、イメージを多めにブレンドしながら、「blend」を設定してください。この時も、イメージにピックアップをある程度ミックスしたほうが、クリアで輪郭のはっきりしたサウンドになり、良い結果が得られることが多いようです。

フロントパネル・コントロール（つづき）

ピックアップEQ：ロー、ミドル、ハイ

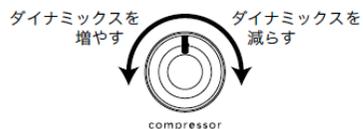
デフォルト設定では、「low」「mid」「high」の3つのトーン・コントロールは、**ピックアップのシグナルだけ**を調節し、選択したイメージにはあまり変化を加えずに、楽器のサウンドを更に磨くことができます。

グローバルEQモードを選択すれば、同じEQの設定を同時にピックアップとイメージの両方のシグナルに適用することができます。



コンプレッサー

つまみを時計回りに回すと、演奏の全体的なダイナミクスが減少し、小さい音の音量を引き上げ急な音量の上昇を抑えるため、より均一な音量の演奏が望ましい場合に役立ちます。最大の設定にすると、出力レベルが全体的に上がる場合があります。



グローバルEQ vs ピックアップEQ

工場から出荷される時、「low」「mid」「high」の3つのトーン・コントロールは、**ピックアップのシグナルだけ**を調節するよう設定されています。これが「ピックアップEQモード」と呼ばれるものです。一方、「グローバルEQモード」を選択すれば、同じEQの設定がピックアップとイメージの両方のシグナルに適用されます。

Aura Spectrumの電源を入れると、チューナーのディスプレイに「P」または「G」が表示され、どちらのモードが選択されているかを示します。

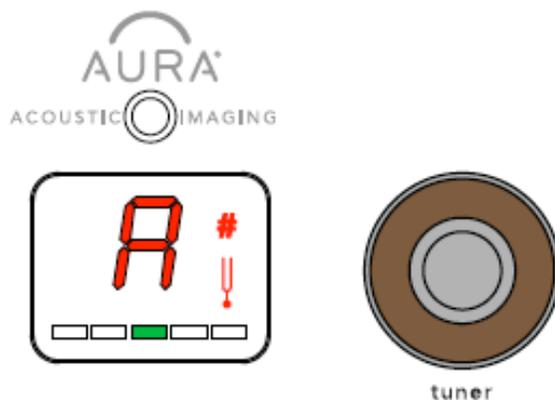
グローバルEQモードを選択する：

1. 「tuner」ボタンを押さえながら電源を入れます。
2. ディスプレイに「P」が点滅し、現在ピックアップEQモードが選ばれていることを示します。
3. 「anti-feedback」ボタンを1度押すと、ディスプレイに「G」が点滅し、グローバルEQモードが選ばれたことを示します。
4. 「tuner」ボタンを選択し、グローバルEQを選択した状態で通常の演奏モードにもどります。

ピックアップEQモードにもどる：

1. 「tuner」ボタンを押さえながら電源を入れます。
2. ディスプレイに「G」が点滅し、現在グローバルEQモードが選ばれていることを示します。
3. 「anti-feedback」ボタンを1度押すと、ディスプレイに「P」が点滅し、ピックアップEQモードが選ばれたことを示します。
4. 「tuner」ボタンを選択し、ピックアップEQを選択した状態で通常の演奏モードにもどります。

フロントパネル・コントロール（つづき）

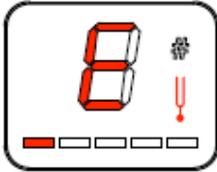


チューナー・フットスイッチ

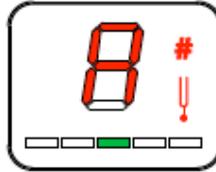
「tuner」フットスイッチを踏むとデジタル・クロマチック・チューナーが作動します。チューナーが作動すると、Auraの白いLEDが暗くなり、中央のディスプレイにある音叉のマークが赤く点灯します。デフォルトの設定では、Aura Spectrumの出力はミュートされ、無音でチューニングができます。

チューニングをするには、1つの音を軽く演奏し、ディスプレイを見ます。音の名前が1文字（A-F）で表示され、表示された音が半音高い場合は小さい「#」マークが点灯します。チューニングの状態は、チューナーのウィンドウの文字の下にある色の異なる5つのLEDで表示されます。入力がない時や演奏していない時は、ディスプレイに「-」が表示されます。

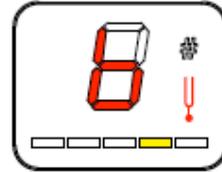
デジタル・クロマチック・チューナーは標準的なチューニングとオルタネート・チューニングに対応し、A=440に調整されています。



音程がかなり低い「E」



音程が合った「A#」



音程がわずかに高い「B」

チューナー・オプション

工場出荷時には、チューナーが作動するとオーディオ出力はミュートされるよう設定されています。

一方、出力をミュートせずにチューナーを使用する設定にもできます。

このオプションを選択するには、AuraのLEDが点滅するまでフットスイッチを踏んだままにしてください。同じ操作を繰り返すと、工場出荷時の状態にもどります。

バイパス・モード

Aura Spectrumは、イメージ、EQ、コンプレッサ処理をすべてバイパスするよう設定できます。バイパス・モードに設定するには、「anti-feedback」と「tuner」のスイッチを両方同時に押します。Auraの白いLEDとチューナーのLEDが交互にゆっくり点灯し、バイパス・モードが作動したことを示します。バイパス・モードを終了するには、再び両方のスイッチを押します。

バイパス・モードの作動中は、チューナーを含むすべてのコントロールは機能しますが、バイパス・モードを終了するまでサウンドに変化はありません。

フロントパネル・コントロール（つづき）

アンチフィードバック・フットスイッチ

「Phase」スイッチに加えて、フィードバックを検出、除去するアンチフィードバック・フィルターを使用し、演奏中のフィードバックをコントロールできます。Aura Spectrumの自動アンチフィードバック・フィルターは、最大3つのノッチ・フィルタを使用するため、非常に精密にトーンをコントロールし、オーディオ帯域のわずかな部分だけを抑えることができます。作動すると、フィルタは問題の共鳴がどこにあるかを特定し、その中心となる周波数だけを抑制します。

「anti-feedback」コントロールはとても効果的ですので、演奏を始める前に問題を特定することをお勧めします。この機能の使い方に慣れれば、特定の会場で目立つ共鳴音を見つけ、問題を解決することができます。

自動アンチフィードバックコントロールの使い方：

1. 「Anti-Feedback」スイッチを2秒間押さえたままにします。チューナー・ディスプレイに「1」が点滅し、最初のフィードバックを検出していることを知らせます。
2. 「volume」を上げ、ボディをタッピングしながら弦をミュートするか、フィードバックが始まるまで問題のノートを演奏してください。フィルタが自動的にフィードバックを特定し、除去します。ディスプレイの「1」と「A-F」の表示が点灯したままになります。
3. この時点で、ステップ2と同様に「volume」を上げ、さらに1つか2つ（合計で最大3つ）の問題のノートを検出することができます。新たに問題のノートが検出されると、それぞれ「2」または「3」がディスプレイに点滅し、その音が特定されるとディスプレイにその数字が表示されたままになります。
4. どの時点でも「anti-feedback」フットスイッチを軽くたたくと検出をキャンセルできます。次に同じ手順を繰り返すまで検出された周波数は回路に記憶されます。また、どの時点でもフットスイッチを軽くたたいてフィルタをオン/オフできます。フィルタが作動すると、「A-F」のライトが点灯し、適用されるフィルタの数が短時間表示されます。

フェーズとアンチフィードバックについて

アコースティック・フィードバックをコントロールするために、「phase」スイッチと「anti-feedback」コントロールの2つの機能を使うことができます。

通常、ハウリングが発生するのは、楽器の最も低いオクターブです。楽器の音を発生させる自然の共鳴は、増幅された音にも反応します。楽器の音を大きく増幅すればするほど、反応も大きくなります。楽器の音が増幅された音と共振すると、長く続くハウリングが起こります。

「phase」スイッチは楽器の信号の極性をプラスからマイナスに反転し、アンプが発する音との関係を変化させます。フィードバック防止の効果が高い設定は、楽器と演奏環境によって異なります。演奏する時にどちらのサウンドが自然に感じられるかによって最適のフェイズ（位相）を選ぶ方法もあります。

「phase」スイッチは、バランスXLR DI出力および1/4インチ出力に送られる信号の極性にも作用し、使用中の他のサウンド・システムとアンプを同期させます。

演奏環境によっては、フェイズ・スイッチを切り替えても聴いてわかるほどの影響はないかもしれません。その際には、サウンドが良いと思われる方に設定しておきます。

「anti-feedback」コントロールは、自動可変周波数ノッチ・フィルタで、フィードバックが発生しがちな楽器の共鳴ピークを抑える効果があります。操作についての詳細は、24ページをご参照ください。

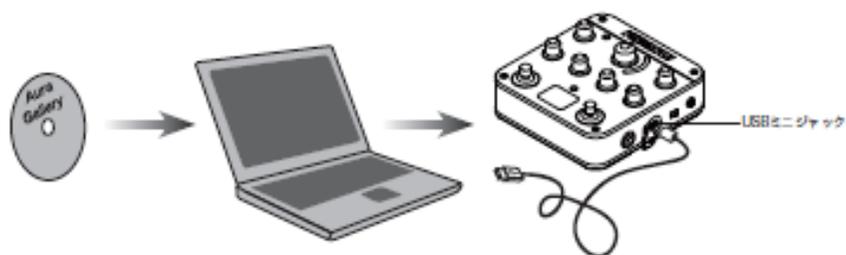
イメージのダウンロード

「Auraイメージ・ギャラリー」は、常に拡張を続ける楽器のリストから作成された膨大な数のイメージのライブラリを管理し、イメージ・セットを検索して保存するためのツールを提供するソフトウェアです。

お使いの楽器と一致するものがリストに見つからない場合は、イメージ・ウィザードを使用し、一番近いものを探してください。何百もあるイメージの中にお使いの楽器とぴったり一致するものがなくても、例えば、類似のトーン・ウッドやボディ・スタイルのものを探せば、すばらしいサウンドのイメージを見つけることができます。これらのツールを使用してさまざまなイメージを試し、ご自分の演奏や音楽スタイルに合ったものをお選びください。

楽器イメージのライブラリにアクセスするには、イメージ・ギャラリーをお使いのコンピューターにインストールしてください。次に、装置の右側にあるUSBカバーを慎重に取り外し、付属のUSBケーブルをプリアンプの側面とコンピューターに接続します。新しいイメージ・セットを作成し、イメージをAura Spectrumにアップロードします。

***Aura Spectrumを初めて接続する前に、必ずAuraイメージ・ギャラリーをインストールしてください。**

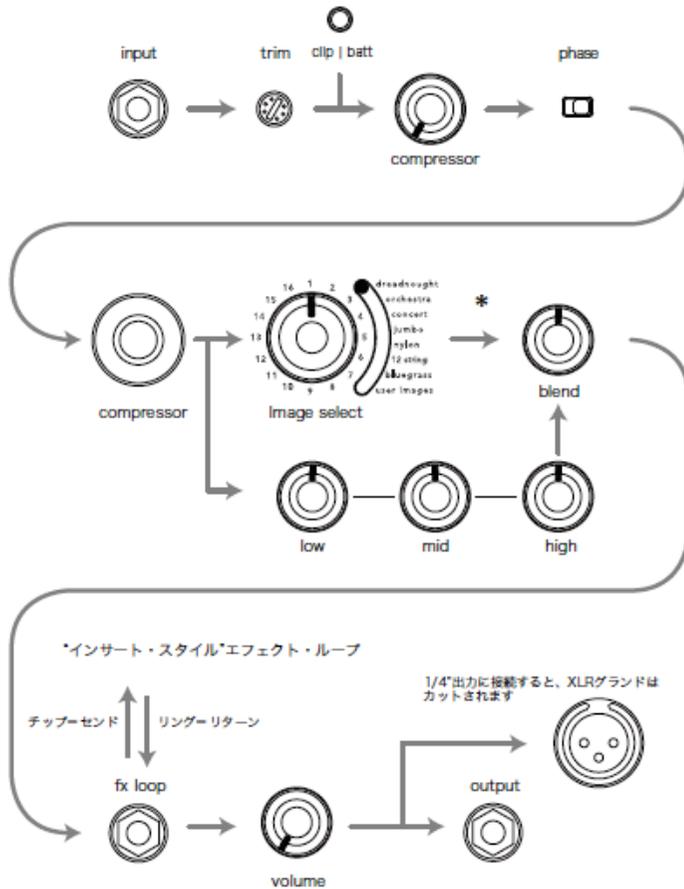


電池交換

「clip/batt」のLEDは、電池が消耗すると点灯したままになります。ペダルの裏の電池ボックスのふたを開け、新しい9Vアルカリ電池またはリチウム電池と交換してください。「clip/batt」LEDが点灯した時の電池の残り時間は約1時間です。

シグナル・フロー

下の図はAura Spectrumを通る音声信号の流れを表しています。注：グローバルEQモードが選択されている時は、トーン・コントロールは「*」印で示されたイメージ・シグナルにも影響を及ぼします（20、21ページ参照）。



仕様

入力インピーダンス：	10M Ω
インプット・トリム・ゲイン範囲：	-10dB \sim +2dB
公称出力インピーダンス：	3.5k Ω
最大出力レベル（クリッピングの発生）：	+3dBV
デジタル信号経路：	
AD・DA変換：	24ビット
シグナル処理：	32ビット
ベースライン・ノイズ：	-97dBV（A特性周波数重み付け）
ダイナミック・レンジ：	100dB（A特性周波数重み付け）
電源：	9V電池または9VDCアダプター
標準使用時消費電流：	25mA
標準使用時9V電池寿命：	アルカリ電池使用時=20時間 リチウム電池使用時=40時間
9Vアダプター：	フィルタ付9V DC/200mA センター・マイナス
トーン・コントロール：	
ベース・コントロール：	\pm 12dB @ 70Hz
ミッドレンジ・コントロール：	\pm 12dB @ 1kHz
トレブル・コントロール：	\pm 12dB @ 6.5kHz
アンチフィードバック・ノッチ・フィルタ（3ノッチ）：	デフォルト周波数 100Hz 検出範囲 50Hz \sim 750Hz オクターブ帯域幅 0.25 減衰 13.5dB
フェイズ・スイッチ：	前位置=反転なし

すべての仕様は予告なく変更されることがあります。

www.fishman.com

FISHMAN

【禁無断転載】

FISHMAN TRANSDUCERS 総輸入代理発売元

株式会社 黒澤楽器店